令和５年度　第４回生駒市行政改革推進委員会　会議録

開催日時　　令和 5 年 11 月 27 日（月）　 午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
開催場所　　生駒市役所　302 会議室

出席者
（委　員）　森委員長、松岡委員、森岡委員、新子委員
（事務局）　川島総務部長、知浦行政経営課長、掛樋行政経営課主幹、島田行政経営課経営係長
（欠席者）　髙山副委員長、松山委員、田中委員
（傍聴者）　なし

１　開 会

２　案 件

「生駒市行政改革大綱」の見直しについて

＜第 6 章「行財政改革の考え方（案）」について＞

（事務局）　【資料 1 について説明】

（委　員）　6 章についての意見ではないのだが、最近の市の施策について、ダイナミックさや華やかさが欠けている気がする。将来投資ということを含めて、新しい時代に応じたチャレンジをしていく必要がある。また、滝寺公園プールについて、廃止する方向性であるが、跡地をどうするのかという議論がなされていない。利便性が高い場所であるため、子育て世代の方が多く利用されていた。廃止するのであれば、それに見合った跡地利用を検討する必要があるのではないか。プールとして維持するとなると維持管理費や人件費がかかるため、例えば親水公園にして子どもの遊び場とするなど、代替となる活用方法を検討してもらいたい。文言を修正してほしいという意見ではないが、「施策目標の実現が期待できる事業」という点が強調されてしまうと、新たなチャレンジといった観点が抜けてしまい、どんどん縮小していってしまうイメージである。

（委員長）　本来は委員の意見のとおり、廃止で終わるだけでなく、その後どうするのかといった点も含めてファシリティマネジメントである。それが、多様な主体との連携や協創につながっていく。例えば、地域や NPO 等に施設を譲渡して、できるだけ公的な活用をしてもらうということもファシリティマネジメントの重要な選択肢になり得る。「１　行財政改革の必要性」の「補助金制度の見直しやファシリティマネジメントの推進などの歳出削減策…」とあるが、「補助金制度の見直しやファシリティマネジメントの推進などを通じた歳出削減策…」と修正すれば、委員の意見を反映することができるのではないか。

（委　員）　数年前にファシリティマネジメントに関する計画を策定した際は、跡地活用については議論しなかった。跡地活用について全く考えず削減だけしていくとなると、地域住民が他の用途で利用する可能性が狭められてしまう。委員長の意見のとおり、

「ファシリティマネジメントの推進などを通じた歳出削減策」とすることで、跡地活用を検討するという余地が生まれる印象である。

（委　員）　廃止されて施設がなくなっていくのは少し寂しい気がする。外部委託することで見えてくる新しい一面もあると思うので、それらも検討したうえで、歳出削減が出来れば一番理想的なのではないかと感じた。

（委員長）　それでは、「…を通じた歳出削減策…」と修正する。

＜「生駒市行政改革大綱」の見直しについて（案）＞

（事務局）　【資料 2～4 について説明】

（委員長）　1 ページ「1 「第 3 次生駒市行政改革大綱」の成果と課題」の下から 2 行目について、後ろの鍵括弧がないため、修正をお願いする。また、先ほどの議論を受けて、6 ページの「1　行財政改革の必要性」の修正をお願いする。

（事務局）　了承

（委員長）　2 ページ「Ⅲファシリティマネジメントの推進」の 1 点目の成果について、金鵄の杜倭苑の説明が括弧書きで記載されているが、説明が長すぎるのではないか。シンプルに市民交流施設としてはどうか。

（各委員）　了承

（委　員）　金鵄の杜倭苑は老人クラブの集まり等で使われていた。これについても冒頭の話と同様で、廃止するのであれば、それに代わるものがあるのかという点が重要である。

（委員長）　課題の「適正配置」という文言が今後の活用といった意味を含んでいないイメージを与えるので、「適正配置や運営のあり方等」としてはどうか。運営方法を変えて維持管理費を削減するという手法も行財政改革の手法の一つだろうが、適正配置という文言には含まれない印象である。「適正配置や運営のあり方等」と修正してよろしいか。

（各委員）　了承

（委　員）　2 ページ最終行の市民自治協議会の設立について、生駒市では 2 団体しか設立されていない。縦割り行政の中で様々な担当課が市民団体等を設立しているが、それらの団体が総ぐるみとなって取り組まなければ、地域の要求はまとまらない。市民自治協議会に対する市の考え方が明らかでない。

（委　員）　行政内部で市民と直接やり取りをする部門が減っている気がする。委託業務が増えてしまい、市民から要望があっても委託事業者に伝えておくという対応になり、事業者任せになっている印象がある。機動的な行財政運営をするためには、委託ばかりしていると対応できなくなる気がする。

（委員長）　要するに責任を持って判断できる人が減っているという事例だろう。自治体として、財政効率を図るという意味では、そういった側面も必要であるが、それにより市民サービスが大きく低下するようなことがあってはならない。

（委　員）　世の中が極端にそういう方向に進んでいることが良いのかどうか。あまり極端に効率化を図りすぎると良くない部分も出てくるだろう。

（委員長）　文言は修正しないが、その課題は重要な指摘である。パブリックコメントについて

何か意見はないか。

（委　員）　何を目的にパブリックコメントを実施するのかという点を明確にしておかないと、意見を出す側も的確な意見を出せないだろう。

（委員長）　行政改革推進委員会としては、全ての意見に対して、誠意をもって答えていかなければならないと考えている。

（事務局）　文言の注釈が入っていないため、事務局で追記する。

（各委員）　了承

（委員長）　それでは、本日の意見を反映した内容で確定とする。

（各委員）　了承

３　その他

（事務局）　パブリックコメントは 12 月 25 日から翌年 1 月 25 日までを予定している。また、次回会議は 2 月を予定している。後日日程調整させていただく。

閉　会